

第184回木曜会講演会

変数となったアメリカトランプ2.0時代の 荒波を日本はいかにして乗り越えるべきか

2026
9/10
(木)
18:00～
20:30

会場

神戸大学 東京六甲クラブ
有楽町電気ビル南館地下1階



クラブ
アクセス

会費

4,000円 (懇親会代含む)

1,000円 (ZOOM参加)

※申込は9/3まで

お申込みはこちら ▶



会場参加



ZOOM参加

演題～

米国の中間選挙は大統領を選ばない選挙である一方で、連邦議会の政治力学が大きく変わる選挙となる。とりわけ、本年はトランプ氏が率いる共和党が上下両院での過半数の勢力を維持できるかが問われる重要な選挙だ。任期も残すところ2年となったトランプ氏の政治的実効性のみならず、今後の米国の方向性を知る上でも、今年の中間選挙は看過できない。つまり、米国が平常回帰できるかがかかっている歴史的な選挙にほかならない。

講師 蓑原 俊洋

神戸大学法学研究科教授

専門は、日米関係・国際政治・安全保障。
カリフォルニア大学デイヴィス校を卒業後、
1998年に神戸大学大学院法学研究科より博士号
(政治学)。日本学術振興会特別研究員(PD)、
神戸大学法学部助教授を経て、2007年より現職。



主催 校友会東京支部(東京六甲クラブ) x 凌霜会

✉ tokyo@rokko-club.jp ☎ 03-3211-2916